

貯 法：気密容器、室温保存
(「取扱い上の注意」の項参照)
使用期限：容器、外箱に表示

商品番号 7

漢方製剤
ハチ ミ ガン
テイコク八味丸エキス顆粒

日本標準商品分類番号
875200

承認番号	(62AM)0060
薬価収載	1988年7月
販売開始	1988年7月

※〔組成・性状〕

組成	本品 9.0 g 中 日局 ジ オ ウ・・・・・・・・・・ 5.0 g 日局 サン シ ュ ユ・・・・・・・・・・ 3.0 g 日局 サ ン ヤ ク・・・・・・・・・・ 3.0 g 日局 タ ク シ ャ・・・・・・・・・・ 3.0 g 日局 ブ ク リ ヨ ウ・・・・・・・・・・ 3.0 g 日局 ボ タ ン ピ・・・・・・・・・・ 3.0 g 日局 ケ イ ヒ・・・・・・・・・・ 1.0 g 日局 プ シ 末・・・・・・・・・・ 1.0 g 上記の混合生薬より製した水製乾燥エキス 4.60 g を含有する。	
	添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、 ステアリン酸マグネシウム
性状	剤形	顆粒剤
	色	灰褐色～暗灰褐色
	におい	特異なにおい
	味	苦い
	識別コード	7/OHKI

〔効能・効果〕

疲れやすくて、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿で時に口渇がある次の諸症：下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ

〔用法・用量〕

通常成人1日3回、1回3.0 gを食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - (1) 体力の充実している患者〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕
 - (2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者〔心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。〕
 - (3) 著しく胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等があらわれることがある。〕
 - (4) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者〔これらの症状が悪化するおそれがある。〕
- 重要な基本的注意
 - (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
 - (2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。プシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

※※3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過 敏 症 ^{注)}	発疹、発赤、そう痒等
肝 臓	肝機能異常（AST(GOT)、ALT(GPT)、T-Bil等の上昇）
消 化 器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等
そ の 他	心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等

注) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔本剤に含まれるボタンピにより流産の危険性があり、またプシ末の副作用があらわれやすくなる。〕

6. 小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。〔本剤にはプシ末が含まれている。〕

〔取扱い上の注意〕

1. 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保存すること。
2. 吸湿性であるので、開封後は湿気に注意して保存すること。

〔包 装〕

3.0 g × 210 包

〔文献請求先〕

大木製薬株式会社 学術課
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3
TEL (03) 3256-5051

発 売 元  **大木製薬株式会社**
東京都千代田区神田鍛冶町3-3

製造販売元  **帝國漢方製薬株式会社**
徳島県阿波市土成町土成字北原80番11